

令和5年度 ミニトマト（アンジェレ）技術情報 No.6

大船渡農業改良普及センター
電話:0192-27-9918 FAX:0192-27-9936



- ・ 夜間温度 12℃ 以上を目標に保温しましょう。
- ・ 栽培終了後の株は、抜き取り、圃場外へ持ち出しましょう。
- ・ 来年度の施肥設計のために、土壌分析を行いましょう。

1 温度管理

気温が低くなると生育が停滞し、果実の肥大・着色が悪化します。

- ・ 入り口やサイドにビニールを設置し、夜間温度 12℃ 以上を目安に、保温しましょう。

表1 温度管理の目標

	目標温度	備考
日中	25～28℃	35℃以上で落花の増加
夜間	12℃	8℃以下で着果不良

- ・ 外気温が下がり、日中でもハウス内の温度が上がりにくくなっています。出入口だけで換気を行う、夕方は早めに出入口を閉めるなど、ハウス内の気温を高める管理を行いましょう。

2 圃場の片付け、土壌分析

- ・ 病害虫の発生防止のために、栽培終了後の株はすきこまずに抜き取り、圃場外へ持ち出して処分しましょう。
- ・ 今年度は葉かび病やすすかび病が多発しました。使用したネットやひもなどを再利用する場合は、薬剤による資材消毒を実施しましょう。

薬剤の例：ケミクロンG（参考：メーカー資料）

本剤はさまざまな病原菌（糸状菌、細菌、ウイルス）に対し有効です。

<使い方>

- ・ 1,000 倍液 → 10 分間浸漬
500 倍液 → ジョウロ散布または瞬間浸漬
- ・ 使用後は十分水洗いするとともに、風通しの良い場所で乾燥後、清潔に保ちましょう。

<注意事項>

- ・ 作業をする時は、必ずゴム手袋をしてください。
- ・ 散布をする時は、換気の良い場所でジョウロを使って散布してください。
- ・ 薬剤調整後は分解しやすいので、調整後 2～3 時間以内に消毒を終了しましょう。
- ・ 残液・廃液は、直射日光に 1～2 日さらし、有効成分の消失を確認してから徐々に排水するようにしましょう。
- ・ 使用前はラベルをよく読み、使用方法を守りましょう。

- 今年度は、強勢台木を導入した圃場では、土壤病害はみられませんでした。が、土壤病害が発生した圃場では、次年度に向けた対策として土壤消毒を実施しましょう。

土壤消毒を行う際は、必ず「ミニトマト」に適用がある薬剤を使用し、農薬使用基準を遵守しましょう。土壤消毒剤の例として、「バスアミド微粒剤」の使用方法を紹介します。農薬登録の内容は表のとおりです。

表 バスアミド微粒剤の農薬登録内容

商品名	適用病害虫 適用雑草	使用量	使用時期	使用回数	使用方法
バスアミド微粒剤	萎凋病 褐色根腐病 白絹病 根腐萎凋病 半身萎凋病 ネコブセンチュウ 一年生雑草	20～30 kg/10a	は種又は 定植 21 日前まで	1回	本剤の所 定量を均 一に散布 して土壤 と混和す る。
	紅色根腐病	30 kg/10a			
	青枯病	30～60 kg/10a			

※この資料は令和5年9月30日時点の農薬登録情報に基づいて作成しています。

<注意事項>

- 土壤を耕起・整地した後、均一に本剤を散布し、**深さ20 cm程度までロータリーで2～3回ていねいに混和**します。混和後、**土を握って形が崩れない程度の水分量**になるまで散水します。散水後は、すみやかにポリエチレンフィルムまたはビニール等で**全面被覆**します。
- 被覆期間中は、出入口や側窓を閉め切り、**ハウス内に入らない**でください。被覆期間終了後は、**2回以上耕起してガス抜き**を行います。
被覆期間の目安（地温）25℃以上：7～10日、20℃：10～14日
15℃：14～20日、10～15℃：20～30日以上
※ 地温 10℃以下では効果が劣るため、使用しないでください。
- 来年度の施肥設計のために、**土壤分析**を行いましょう。JA おおふなとトマト部会員の皆さんは無料で実施することができます。詳細は JA おおふなとへお問い合わせください。

★**いわてアグリベンチャーネット** URL: <https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/>
岩手県からのお知らせに加えて、農業技術情報や病害虫に関する情報、各地域の情報など盛りだくさんです。ぜひご覧ください！！

★**9月15日～11月15日は秋の農作業安全月間**
農業機械の基本操作を守り、無理のないスケジュールで作業を行いましょう。
令和5年度岩手県農作業安全スローガン「農作業 慣れと油断が 事故のもと」